

授業科目 臨床栄養学実習Ⅱ(臨地実習)

【担当教員名】 山本通子	対象学年	3	対象学科	健康
	開講時期	後期(集中)	必修・選択	必修
	単位数	3	時間数	135

【概要】

病人の栄養治療が臨床の場でどのように行なわれているか、また病院の栄養士がどのように日常業務を遂行しているかなどについて、医療の場で3週間学ぶ。この間、栄養部門以外の病院施設の概要も理解する。

臨床栄養学ⅠとⅡ、臨床栄養学実習Ⅰ(学内実習)、その他の教科で学んだことを基に、その実際応用を経験する。

- 【学習目標】
1. 病院の食事の供給システムとこれに関連する業務を学ぶ。
 2. 病棟での食事の実際を見学したり、食事介助の補助作業を経験する。
 3. 外来患者の栄養教育(栄養指導)、入院患者の栄養教育(栄養指導)、その他(母親学級や患者指導教室)を見学する。
 4. 個別症例について、栄養・食事に関連する医学的、社会的側面を学ぶ。
 5. 医療施設の概要、および栄養部門と他部門との連絡・調整体制を知る。

回数	授業計画又は学習の主題	SBO	
		番号	学習方法・学習課題又は備考・担当教員
	1. 実習期間 9月中の3週間(予定) 2. 実習施設 ・新潟市内および近郊の病院 ・県外出身者の一部は地元の病院 3. 実習内容 ・病院施設の概要と栄養部門の位置づけ ・病院の食事供給システム。 ・病院栄養士の業務 ・患者に対する栄養教育 ・食材料の管理および衛生・安全管理の実際 ・病棟での食事の状態 4. 実習方法 ・1施設2～3名のグループを編成して実習		学習方法：各施設にて実習 学習課題：具体的事項は各施設の指導担当者と相談してきめる 担当教員：各施設の指導担当者(管理栄養士)

【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格・その他>
教科書	学外実習テキスト			
参考書				
その他の資料				

【評価方法】 各施設の指導担当者からの評価と報告書	【履修上の留意点】 各病院の指導担当者(管理栄養士)が多忙な日常業務の中で実習生を受け入れて下さるので、機会を最大限に活用して多くのことを学んでほしい。それと同時に周囲の栄養部スタッフ、他の医療従事者に迷惑をかけないように注意する。
------------------------------	---